

1 パブリックコメント

No.	該当項目	意見	意見を受けた修正の有無
1	Ⅲ各論－政策2－① 「『人』を支える取組の充実」	当該重点政策の趣旨で「児童生徒にとっての能力最大化」にも触れているが、主なテーマが「教職員の働き方向上」のみであるため、趣旨の表現を変更すべきではないか。	有
2	Ⅲ各論－政策1－①「変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成」 －政策1－⑤「時代の変化に対応した教育イノベーションの推進」	重点政策a「変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成」と重点政策e「時代の変化に対応した教育イノベーションの推進」の一部が同様の趣旨・テーマとなっており、冗長である。	無
3	Ⅲ各論－政策1－③ 「自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援」	本項の主なテーマ及び具体的施策は子どもに対する教育が主眼となっており、「生涯にわたる学びの支援」としての施策とはなっていない。 児童生徒に限らないあらゆる立場の人たちを表す「学習者」全般に対する具体的な施策も追加すべきではないか。	有
4	Ⅲ各論－政策1－③ 「自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援」 －取り巻く環境－計画策定時点（令和5年度）の取組	子どもたちの体験活動の充実に当たっては、県立施設だけでなく、自然体験活動や野外教育・環境教育を担う民間団体と連携し、より質の高い体験プログラムを提供していくことが必要である。	無
5	Ⅲ各論－政策1－③ 「自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援」 －主なテーマ(2)「社会教育や体験活動など多様な学びの充実」 －具体的施策「青少年教育の推進」	学校の宿題や部活動を優先し、地域における多様な体験活動に参加することが難しい子どもが少なからずいると聞いている。子どもたちの体験活動を推進するに当たり、このような問題を同時に議論し、解決してほしい。	無

No.	該当項目	意見	意見を受けた修正の有無
6	III各論－政策1－③ 「自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援」 -主なテーマ(2)「社会教育や体験活動など多様な学びの充実」 -具体的施策「様々な体験活動の推進」	体験活動に係る情報提供に当たっては、県立施設だけでなく、民間団体の情報も同時に発信すべきである。 青少年会館においては、積極的に県内の民間団体の情報を集め、県内の子どもたちに広く情報発信をしてほしい。 群馬県が積極的に民間団体を巻き込みながら、多くの子どもたちに質の高い自然体験をこれまで以上に提供していくことを切望する。	無
7	Iはじめに -第2 教育を取り巻く環境 -ク 非認知能力育成に係る取組	今、注目されている非認知能力の育成は、世界的な流れであり、群馬も日本のリーダー的県になるよう育成・普及に取り組むべき。	無
8	III各論－政策2－④ 「学びの充実に向けた様々な主体による連携・協働の推進」 -主なテーマ(2)「生涯学習・社会教育を推進する環境整備」 -具体的施策「読書活動の充実と県立図書館の機能強化」	読書をする人が少なくなっている現実があり、読書活動の推進を図るとともに、県立図書館の機能強化や、これからの図書館の在り方を真剣に考えるべき。	無
9	(家庭教育)	家庭教育が最も大切で、学校・地域と三位一体であることを徹底してほしい。	無
10	(教員の多忙化)	学校の先生、特に小・中学校の先生が忙しすぎるこの原因と教員の在り方を真剣に考えるべき。	無
11	(教育経済的負担)	教育に経済的負担が少なくなるよう真剣に考えるべき。	無
12	Iはじめに－本計画策定に向けた思い -【児童生徒の皆さんへ】	「社会をより良くしよう」と願う心を万人が生まれながらに持つという主張には根拠が示されておらず、「思い」に説得力がない。また、群馬県教委が「群馬県の教育をより良くしていくため」の協力を児童生徒に求めることは、行政機関による自らの計画目標の押しつけではないか。	無
13	Iはじめに－本計画策定に向けた思い－【保護者、教職員、地域の方々…この計画を目にする全ての皆さんへ】	「エージェンシー」という用語を本計画で独自に再定義しており、OECDによる定義とは異なる。OECDも「エージェンシー」の解釈について、国際的な意見の一致がないことを認めているものの、本計画自体が世界や日本の中で「ガラパゴス化」してしまうことを危惧する。	無

No.	該当項目	意見	意見を受けた修正の有無
14	I はじめに－第1 群馬県教育ビジョン策定の基本的な考え方	「始動人」という用語もNo.13の意見と同様であり、人々の理解を得られていない。	無
15	I はじめに－第2 教育を取り巻く環境－1 教育と子どもの権利	「基本計画（国）」に関する記述はほとんどなく、中教審答申「「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方」に書かれた教職員のあるべき姿や研修機会の確保に関する記述で占められており、「教育と子どもの権利」という標題との関連が見えない。また、誤植や表記揺れ等が随所に見られる。	有（誤植等の修正）
16	I はじめに－第2 教育を取り巻く環境－2 群馬県の実況	具体的な県内の課題や特徴的な問題への対応が不足している。 また、年号表記方法の混在や誤植等が目立つ。	有（誤植等の修正）
17	II 総論 －1 最上位目標	最上位目標が教育計画ではなく社会の振興計画に見える。また、新しい概念の説明が不足しており、県民全体の納得を得るために明確な説明が求められる。	無
18	II 総論 －2 群馬の教育が目指す学習者像	最上位目標を具体的な学習者像に分解しているが、その内容が実態と乖離しており、「画餅」に終わるのではないか。	無
19	II 総論－3 目標実現のために持ち続ける視点	「目標実現のために持ち続ける2つの視点」について、「教育は社会を良くするための手段」という、行政機関の都合を最優先した意図が強調されているがどうか。	無
20	II 総論 －4 今後5年間の教育の重点政策（概説）	「目指す学習者像の実現のための重点政策」と「群馬の教育を推進する基盤となる重点政策」の2つに分ける意図はなにか。一部の政策で重複や重なり合いが見られ、整理必要ではないか。また、「群馬ならではのインクルーシブな教育」について、特に日本の特別支援教育が国連から廃止勧告を受けている状況下で、特別支援教育の推進と同時にインクルーシブ教育を進めるのは難しいのではないか。 更に、記述の中に項目のナンバリングに係る誤りがある。	有 （表記の統一に係る修正）
21	III 各論	具体的な施策が多岐にわたり、その実現可能性や教育現場での実践に関する懸念がある。 「基本的人権の尊重」と「教育の機会均等」の理念に基づく、群馬県教育の享受者の視点に立った教育振興基本計画の再検討が必要である。	無
22	III 各論－政策1－③ －主テーマ（1）主体的に社会の形成に参画する態度の育成 －具体的な施策 [多様な価値観と対話を重視した道徳教育の推進]	「正しい日本の文化や歴史(偉人伝)を学び、日本人として誇りを持つことにより他人も認め、自国を愛し、他国とも仲良くできるような人間形成が図れる単元を設ける」という趣旨の文言を追加していただきたい。	有

No.	該当項目	意見	意見を受けた修正の有無
23	Ⅲ 各論－政策1－⑤ 主なテーマ（3）世界に目を向ける 〔グローバル人材育成〕 具体的な施策〔国際交流の推進〕	若年層を対象にどのような内容のコンテンツを提供するのか、海外の学生との交流機会ではどのようなテーマで議論や情報交換をするのか、それぞれ具体的に示した記述を追加していただきたい。	無
24	Ⅱ 総論－1 最上位目標 （2）「ウェルビーイング」の向上と 「エージェンシー」と「コンピテンシー」	教育（学校教育）ではコンピテンシーを習得することを支持することに力を注ぐべきで、エージェンシーを発揮する基礎としてコンピテンシーが必要であるという趣旨を強めた方がいいのではないか。エージェンシーとコンピテンシーのどちらも身につけさせると考えると、「自律した学習者」の育成につながりにくいと考える。	有

2 教育委員

No.	該当箇所	意見	意見を受けた修正の有無
1	P9 「2 群馬県教育ビジョンでは、今後5年間の教育施策の理念と方向性を示します」	現場の先生が頑張っているという内容を追加してほしい。	有
	P27 （2）「ウェルビーイング」の向上と「エージェンシー」と「コンピテンシー」	基礎的な知識を身に付けることや、反復・継続して勉強することも大事である。	有
	P33 視点① 等	「も」「しかし」が気になる(きつく感じる)部分が何か所がありました。読み進めていくとき、しかしの後を際立たせる意図があることは十分わかりますが、「不易と流行」、「認知能力と非認知能力」のようにどちらも大切であるというスタンスで後のことを際立たせるほうが読みやすいと感じました。	有

3 策定懇談会委員

No.	該当箇所	意見	意見を受けた修正の有無
1	計画全体	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議で、かなり我儘な宿題を残してしまったにもかかわらず、大変すばらしい児童生徒へのメッセージをまとめてくださいましたこと、本当にありがとうございます。 ・最初の二つのメッセージは、大変すばらしいものだと感じています。 ・細かなニュアンスについては、他の委員さんの感性からご指摘があればご検討いただきたいと思いますが、大森からは付け加えることはございません。 ・本文についても、このようにまとめていただくと、やはりわかりやすいと感じたところです。 	無
2	計画全体	懇談会で出された意見を的確にまとめていただいてありがとうございました。これだけの確にまとめていただいて感謝いたします。	無
3	<p>P59 III各論－政策1－⑤ 「時代の変化に対応した教育イノベーションの推進」 －(4)教育DX〔DXを基盤とした新しい学びの確立〕</p> <p>「教育DXとして、ICTやスタディ・ログ、データの活用により、個別最適な学びや協働的な学び、更に幅広い学びを実現できる学習環境の整備をより多角的に充実させるとともに、自ら課題を設定し、主体的に学び続ける力を身につけた人材を育成します。」</p>	<p>1) 多角的は、どちらかという人の立場を指すイメージなので、多面的とかの方が、より適切かも知れません。</p> <p>2) 難しかったのは、教育DX周りの記述です。 確かに、ICTやスタディ・ログ、データの活用をするのですが、その結果、現れるのは、既存の手順が省略されたり、なくなったり、より本質的な手順が変わっていくことだと思います。授業であれば、根本的に見た目から変わります。この書き方だと、授業の構造は手順は従来のママ、何か（個別や協働等）を付け加えていくイメージに感じてしまいます。とはいえ、よくあるパターンの記述で、なんともです。</p> <p>3) それはとりあえずで、(1) ICTや学習環境を充実させる (2) 学習指導（学び）が充実する (3) よき人材が育つという流れで、デジタルが特に寄与するのは (2) の学習指導を充実させる所であり、 (1) のデジタル等の学習環境があると、(3) 力のある人材が育つと直結して書くと乱暴ですよね。</p> <p>今の文章を (1) ～ (3) で整理すると、 (1) 教育DXとして、ICTやスタディ・ログ、データの活用により、 更に幅広い学びを実現できる学習環境の整備をより多角的に充実させる (2) 個別最適な学びや協働的な学び (3) 自ら課題を設定し、主体的に学び続ける力を身につけた人材を育成</p> <p>と、(1) と (2) の内容は、混じっているかも知れませんが、(2) の記述はこれでは弱いのではないかと思います。私としては、(3) は複合的な要因ですので、ICTだけでの実現は無理で、ICTは、特に (2) の充実特に寄与していると思っています。いずれにしても異常に細かい指摘なので、お任せいたします。</p>	有

No.	該当箇所	意見	意見を受けた修正の有無
4	計画全体	文字から内容がイメージでき素晴らしいと感じました。 事務局に一任いたします。	無
	P54～56 重点政策 d 心と体の健康に対する理解と向上	「趣旨・主なテーマ」と「背景」が一致していない？ような印象がありました。 強い意見ではありません。趣旨や主な内容が背景に書かれている内容より広いためでしょうか？	有
5	計画全体	このまま進めていただければと思います	無
	備考	・今後に向けた期待としては、冒頭の「本計画策定に向けた想い」そのままだと思いました。 ・多くの方に読んでいただき、本県の教育が一步でもこの想いに近づくことをお祈りしています。	無
6		未回答	－
7	計画全体	よくまとめられていて、思いが込められた計画になっていると思います。	無
	II 総論 － 4 今後5年間の教育の重点政策（概説）－政策2－⑤	「メンタルヘルスの諸問題や貧困や虐待など社会生活を」 →「メンタルヘルスの諸問題や貧困、虐待など社会生活を」または「貧困・虐待など社会生活を」	有
	II 総論 － 4 今後5年間の教育の重点政策（概説）－政策2－⑤	「子どもたちが、「向上」を目指す前の段階で困難さを有している場合があることを忘れることなく～」 →「忘れることなく」の表現が弱いように感じました。 例「考慮し」などは、いかがでしょうか。ニュアンスの問題かもしれませんが、「忘れていないよ」というより「いつも考えているよ」という思いを伝えられたらと思いました。	有
	III 各論－政策1－① 「変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成」 －関連施策	○「幼保こ・小・中・高の確実な連携」 ・「幼保こ」の「こ」がわからない地域の方がいらっしゃるかもしれないという心配があります。昔はこども園がなかったのです。 ・表の中では、「幼保こ」のままでいいと思いますが、本文の中で「幼保こ」を「幼稚園保育園こども園」という表現を入れておくとよいと思いました。	有
	III 各論－政策1－① 「変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成」－（2）自ら考え、判断し、行動できる力の育成	○「これからの産業経済や地域社会を支える人材を育成するため、基礎的・基本的な知識及び技術を身に付けさせるとともに～」 →「身につけさせるとともに」という表現が気になりました。この文章では、この表現しかできないのかもしれませんが、「自ら向上する」という計画のイメージにある表現が良いと思いました。	有

No.	該当箇所	意見	意見を受けた修正の有無
8	III各論－政策1－① 「変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成」 －（2）自ら考え、判断し、行動できる力の育成 － [職業教育の推進]	○「実践的な職業教育を推進するため、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を、地域や産業界と共有し、連携・協働しながら、インターンシップや本県の特色を生かした取組を実践していきます。」 →これまでも、産業界と連携してきたかと思えます。さらに「経営や現場を知るために」「連携強化」といった表現があるとより良いと思えます。「教育」に協力したいと思っている経営者は意外と多いです。講演、研修などを依頼されると嬉しそうにしています。これまで以上に連携を強化できると良いと思えます。	有
	III各論－政策1－④ 「心と体の健康に対する理解と向上」－主なテーマ（1）「心と体の健康への理解と意識向上	○体育・保健体育等の授業を通して、自己の健康に関心を持ち、健康の保持増進や回復等のために主体的、協働的に活動する等の態度を育成します。 →「等」が多いように感じます。「健康の保持増進や回復等」は、「等」をとってもいいのかもしれないと思いました。「健康の保持増進や回復」以外に含まれるものがあれば、「等」を残した方が良いかもしれませんが。	有
	III各論－政策2－④ －主なテーマ（3）「様々な背景要因により本来持つしなやかさや力強さを発揮しづらい子どもに対する支援」－具体的施策 [ヤングケアラー支援の推進]	・「ヤングケアラーの早期発見」についてですが、学校だけでなく「地域」「家庭」の連携協力が本文の入ると良いと思えます。 ・「地域」で「ヤングケアラーや虐待に気づいているけど、どのように対応していいかわからない」という人もいらっしゃいます。「家庭」では、自分の子供から、「友達がヤングケアラーであること」や「虐待されていること」を聞いている人もいます。わかっているけど、通報すれば恨まれてしまうと思って何もできないということもあります。本文のなかで、「地域」「家庭」の連携協力が伝わる表現があると良いと思えます。	有
9	P.4 右側 下から2段落目	「教えられ、守られるだけの子ども」…P.16の「一方的に守られる・教えられる存在ではなく」という表現に合わせた方がよいのではないのでしょうか。	有
	P.5 右側 上から2段落目	「日本人に不足している要素の一つです。」…「不足している」よりも「求められる」など前向きなワードにしてはいかがでしょうか。	無
	P.17 右側 （3）1段落目	「下のグラフにあるように、」…グラフが次のページにあるため、「次ページのグラフ」とするか、グラフを同じページに移動するなどしたらいかがでしょうか。	有
	P.21 右側 （2）の最後	「一人一人の良さを認め」…「よさ」とひらがな表記のほうが良いのではないのでしょうか。生徒指導提要では「よさ」とひらがなで表記しているようです。	有
	P.24 左側 コ 公立学校教職員の状況 1 落目	「近年の公立学校教員の志望者数は減少しています。」…「ブラック職場である」というイメージが定着したことが原因であると断定してよいものではないのでしょうか。他の要因（少子化）などもあると思えますので、「要因の一つである」程度に留めたほうが良いと思われます。	有
	P.33 右側 視点②	「学び＝学校」は一般的な社会認識と捉えられますが、「学び＝家庭」はいかがでしょうか？	有

4 関係団体

No.	該当項目	意見	意見を受けた修正の有無
1		意見なし	
2		意見なし	
3	p.4 本計画策定に向けた想い（児童生徒向け5段落目）	一人きりで今すぐに社会を変えることは難しいかもしれません。、というふうには、いかないかもしれません	有
4	p.13 ③共に生きることを学ぶ	人がお互いにより良く暮らすだけでなく、自然環境も含め、共により良く暮らせるよう役立てるよう学ぶこと →ユネスコが示す学習の4本柱の趣旨と比較すると「ボンヤリ」した感じがします。少し具体性が必要ではないでしょうか。	有
5	p.22 オ 特別支援教育の状況	～今後も本人の希望を尊重しながら、必要な取組を進めていく必要があります。	有
6	p.23 ケ インクルーシブ教育の方向性	この勧告を受けて、国においては今後、特別支援教育の在り方やインクルーシブな教育に関する検討を始めています。群馬県においても、国連の障害者権利条約やユネスコのサラマンカ宣言などを踏まえたインクルーシブな学校の考え方、海外事情や最新の研究状況等の情報収集など調査研究に取り組み、検討を進めています。 群馬県ならではのインクルーシブな教育の構築に向けては、全ての子どもたちが協働する学びと、その子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた個別最適な学びを両輪とした教育の充実が必要と考えています。 また、このようなインクルーシブな教育<これが係る部分が不明確。上段下線部を指す？>を推進するためには、児童生徒、保護者、教職員など関係者の理解がとて大切であり、丁寧な説明を行っていくことが求められます。必要があると考えています。	有
7	p.38 重点政策 c (3) インクルーシブ教育推進に向けた体制整備	「(3) インクルーシブ教育推進に向けた体制整備」では、学校教育において、障害の有無等に関係なく一人一人に応じた支援を要する全ての子どもが共に学び合うことができる教育環境を通じて、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばす教育を実践するための体制整備を進めていきます。 また(あるいは「そのために」)、特別支援学校における交流及び共同学習の推進のほか、特別支援学校のセンター的機能の充実、通級指導教室の機能強化等を進めるほか、ます。また、外国人児童生徒等に係る教育を充実していきます。	有

団体名	該当項目	意見	意見を受けた修正の有無
8	p.43 (1) 自らの学びをつくる力の育成	幼児期の教育について、きちんと記載されていると思いました。幼児期は遊びこそが重要な教育です。十分に遊び込み、直接的・具体的な体験をすることで、小学校以降の学習に必要とされる、すべての基礎が培われると考えます。幼児が主体的に様々な力を発揮できるよう、すべての教育機関と力を合わせ、援助していきたいと考えます。	無
9	p.62 a 「人」を支える取組の充実 「前提・背景」	休職の教職員が100人以上は深刻です。教員の働き方向上にかかる対応として、まずは教員の増員についてもふれただけだと思います。また授業時数の管理についても多すぎないよう対応・指導についてもお考えください。	無
10	p.63 学校の様々な業務を支援する人員の配置	「学校の様々な業務を支援する人員の配置」の中でS Cの配置が全ての学校とありますが、小学校などは月に1日程度の配置状況です。この増員もはかり、教員・保護者の要望にすぐに応えられるような数の確保をお願いします。	無
11	p.67 I C T環境の充実	I C T環境整備については、機器の破損等についての対応も考えていただければと思います。高額ですので75ページの教育に係る経済的支援にも関連してくるかと思われます。	無
12	p.68 特別支援教育推進のための体制整備	特別支援教育推進についても、個別支援の重要性から学級編制上の子どもの数の上限を減らすことが大切かと思えます。また上記2番目のような特別支援教育にかかる支援員の配置（指導員など）も必要と考えます。	無
13	p.70 (1) 「地域とともにある学校」・ 「学校とともにある地域づくり」に向けた取組の充実	計画策定時点（令和5年度）の取組には、P T Aと協働する旨が記述されていますが、今後の施策の中には入っていません。コミュニティスクール推進についても、また生涯学習課が取り組まれている保護者の学習機会提供に伴う家庭教育支援チームの推進についても、P T Aとの連携促進は大切な一つかと思われます。	有
14	その他	先日のこちらの会議で保護者から出た意見ですが、今年度は「公立高校合格発表後に卒業式」ということへの周知をもう少し丁寧にしてほしかったという声がありましたのでお伝えします。	無
15		意見なし	
16	p.47 特別支援教育の推進	県内各地に特別支援学校が設置されたことで、家から近い地域の特別支援学校に通える児童生徒も増えました。しかし、学校によって受け入れに制限があり、家から遠い本校に通ってきている生徒もいます。「準ずる教育課程」の生徒も学べるような特別支援学校の総合化が実現できるとよいなと思います。	無
17	p.68 インクルーシブ教育推進に向けた体制整備	有意義な居住地校交流を実施できている例もありますが、中には相手校との共通理解が難しい例もあります。双方がインクルーシブ教育のよさを実感できればよいと日々感じます。インクルーシブ教育を根付かせるためにも、副次的な籍の導入を早急に進めていただきたいです。	無

団体名	該当項目	意見	意見を受けた 修正の有無
18		意見なし	
19	p.55 (2) 身体活動の充実とスポーツを楽しむ意識の醸成	<p>下記事項を加味ください。</p> <p>○地域スポーツ活動にも参加しやすい環境の取組み。</p> <p>・地域のスポーツ少年団や、地域のクラブ活動に学校等から周知いただける体制があると良いと思います。</p> <p>※学校の部活動だけでは、技術向上にも限度がありますので、地域の団体を有効に活用していただければ、と存じます。</p>	有
20	p.55 (2) 身体活動の充実とスポーツを楽しむ意識の醸成	<p>下記事項を加味ください。</p> <p>○学校での体育行事に地域スポーツ指導者の協力を得る。</p> <p>・例えば、スキー教室など、学校独自では困難な事業に地域のスキークラブの協力を得て、貴重な体験ができると思います。</p> <p>※私個人もスキークラブ員ですが、スキースポーツは、運動の苦手な児童も、成功体験を味わえる人生の中でも大きなイベントと考えております。様々な都合で、スキー教室を休止する学校もありますが、地域指導者の協力を得ることで実施が可能と思います。</p>	無
21		意見なし	
22		意見なし	
23		意見なし	
24		意見なし	
25		意見なし	
26		意見なし	
27	p.55 学校保健や食育の充実	食育の効果は、実体験を伴うことによって高まるため、食の素材を生産する農業と結び付けた教育の充実を期待します。	無
28	p.55 学校保健や食育の充実	学校給食は食育の重要な場であり、健康の礎は健全な食生活にあるため、伝統食や旬の食材を重んじる「身土不二」の考え方も含め、地産地消の啓発・普及を学校給食の場も活用した展開を期待します。	有